

創刊号

樟

くすのき

樹

同窓会誌

愛媛県立新居浜西高等学校同窓会

先輩の遺徳を讃え 「西高らしさ」を



同窓会長
世良 誠 朗

四国大橋時代となり、郷土の高速自動車道は来春開通の運びとなります。私たちの街は長かった「不況」というトンネルをやつと抜け出し、今、限りなく未来が開かれようとしています。

今年時はあたかも「別子開坑三百年」という歴史的な節目（十一月二日）を迎えようとしております。西高も現在の宮西町に移転して、今年が丁度六十年目になるのですが、何かのめぐり合わせのようにも思えてなりません。

このような時期に、同窓会誌「樟樹」が創刊の運びとなりましたことは、誠に時宜を得た壮挙であり、衷心よりお喜び申し上げます。『早く発刊を』との激励をうけながらも、今日に至ったことに対して、お許しをいただきたいと存じます。

西高同窓会は先輩の遺徳を讃え、これを辱めないよう、「西高らしさ」をモットーとして、ふる里のよりどころとなり得るよう、さらに精進してまいります。記念会館内に事務局を設置し、情報ネットワークの拠点となるように、態勢を整えてまいります。皆様の各般にわたるご要望にお応えいたしたく、ご来館をお待ちしております。

同窓会報「樟樹」 の創刊を祝って



校長
三 木 忠

新居浜西高同窓会誌「樟樹」が同窓生の皆さん方の強い要望により、ここに創刊の運びになりましたこと、誠におめでとうございます。学校にとりましても大変嬉しいことで、心から御祝を申し上げます。

さて、誌名「樟樹」はとても良い名であります。母校の東隣りに太古より伊予一の宮として栄え、勇壮華麗な太鼓台の集る大社に群生する巨木こそ、新居浜西高のシンボルであります。

また、緑したたる若葉こそ、青春の色であり、高校時代の色であります。そうして、昔も今も生徒達はこの大木を仰ぎ見て、偉大な人間を志したものと思えます。

この会誌には、恩師旧友の消息、昔懐しい資料や思い出、郷土新居浜の今昔、母校の現況、部活動や進学就職の様子など盛り沢山に計画されていると聞きます。

どうかこの会誌を通じて、同窓生の皆さん方の心の糧、命の洗濯となり、ひいては母校愛、郷土愛へと発展することでありましょう。

どうか皆さん方の会誌として、皆さん方が積極的に投稿され、本誌が益々充実発展することを祈ってやみません。

会館の利用状況

同窓会の活動以外にも 学校教育の様々な場面でフルに利用

記念会館は、同窓会の情報センターであり、卒業生と在校生をつなぐシンボルでもあります。一階には同窓会の事務局が設置され、二階会議室では理事会や常任理事会が開かれます。

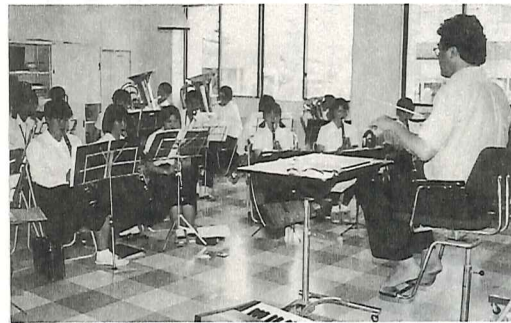
しかし、そのような同窓会活動以外にも、以下に述べるような、学校教育の様々な場面で、フルに利用されています。

(1) 授業で……二階会議室は教室としても使用されています。一、二年男子の保健の授業は、一講座五十余名となるため、普通教室では授業が実施できません。以前は「体育講義室」があったのですが、学級増（現在、普通科三十学級、家庭科六学級）に伴い普通教室となったため、その代わりとして週十時間使われています。

(2) 様々な会の会場として……二階会議室は、様々な会の会場として使用されています。例えば、学校訪問時の研究会場となったり、東予地区校長会、職員研修会、学年会などの会場として使用され、視聴覚設備も有効に利用されています。

(3) 生徒会活動で……二階会議室では生徒会の各種委員会（代表委員会等）も開かれています。平均して週二回程使われています。

(4) 部活動で……一階にはプラス



プラスバンドの練習場として

の練習場があり、毎日放課後部員たちが練習に励んでいます。また、二階会議室は華道クラブ・華道部の、三階和室は茶道クラブ・茶道部の活動場所として、毎週火曜日に使われ、一般教室より使いやすくと好評です。さらに、西高祭の時には華道部や茶道部、同窓会の展示会場としても使われます。

(5) その他……毎年六月下旬に、三泊四日で、野球部が三階和室を合宿所として使っています。また、毎年二月、家庭科三年生を対象に家庭講座が開かれますが、記念会館を一階から三階まで使って、電話の応待の仕方や着付け

などの講習が行われます。

(6) 利用者の声……「二階会議室の白い壁に、生花の鮮やかな色彩が映えて一層美しく感じられます。昨年の西高祭では、この部屋を利用し展示しましたが、部屋も広く新しいので、生き生きと飾ることができました。」（華道部）

「夏は涼しく、冬は暖かくて、使いごちも満点です……。とにかく、記念会館のおかげで部員も増えだし、お茶会の時もぜいたくな気分を味わうことができます。」（茶道部）



お花の稽古でも効果をあげる

小・中・高等学校制服指定店

稲井洋品店

新居浜市登道サンロード ☎35-2000

ジーンズショップ

171

☎35-2000

ワークショップ

稲井

☎33-8500

(普42年卒 稲井本道)

記念

部屋が広く明るく
落ち着きがある

華道部 必須クラブ

華道部も、記念会館で稽古をしています。

普通教室の時は、ベルと同時に出来ないならば困っていましたが、記念会館の場合は、時間に余裕があるし、ゆっくりと落ちて稽古をすることが出来ます。

必須授業の後、自由クラブ稽古をして効果をあげています。

部屋も広く、明るく、文化祭の時など最適です。バックもブラインドを使用するので、準備も早く、美しい会場になります。

記念会館が利用できることに、感謝するとともに喜んでおります。

『女学校』。懐かしい呼び名のわが母校は、大正六年に実科女学校として創立され、以来七十年余、幾多の変遷を経て、今日、県下有数の名門「西高」として発展してきました。感無量。まことに慶びに堪えません。

先日の理事会。折からの雨にもかかわらず、女学校部の方はほとんど出席されました。中には、骨折して間もない方が、杖をつきつき歩かれる姿をお見受けし、頭が下がりました。

その席上、懐旧談に花が咲きました。どなたもまず第一に「四恩の鐘」をあげられました。鐘は、今の本館南側の、こんもり繁った木立の奥にあつて、校長先生の「ゴーンゴーン」と、おごそかに打ち鳴らされる音のもと、四恩に感謝しつつ、昼食の前に黙祷したものでした。

その鐘は、惜しくも、昭和十八年の戦争もたけなわの頃、国へ供出されたとのこと。弾丸にもなったのでしょうか。

遙かな“青春”

……四恩の鐘の思い出……

女学校部会の有志が語る



四恩の鐘は、昼食の前に校長先生の手で打ち鳴らされた

一学期の本試験が終われば、いよいよ「林間学校」。八幡神社の木立に囲まれた涼しい境内で、二時間授業を受けた後、全校生徒四百人余りが能力別に別かれ、黒の水着でジャブジャブ。往きはまだしも、帰りは七月のジリジリ照りつける太陽の下、八キロメー

トル余りの石ころ道を、たまさか通る荷馬車を横目に見ながら、汗を拭き拭き帰ったものです。

先日、懐かしさに友を誘って、四方山話をしながら、八幡神社まで行って参りましたが、樹々は悠久の時を刻んでいましたが、辺りの風景は一変し、往時の面影は、何処にもありませんでした。

戦争の色も濃くなった昭和十五年頃からは、今の労災病院の辺りの松林へ出かけ松根おがし。観音原まで液肥を担いで行って開墾。果ては、学業を投げうって挺身隊……と、エスカレーターしていつて敗戦。思いは尽きませんが、今はすべてが懐かしい。

年一回発行されることになった同窓会誌。お互いの交流を深めて、実のあるものになればと、白髪に年輪を刻む年を迎え、郷愁でしようか、強く感じる今日此の頃です。

(注) 四恩とは「君の恩」「親の恩」「師の恩」「社会の恩」の四つ。

株式会社 **SSK** コンピューター

〒792 愛媛県新居浜市庄内町4-1-15
TEL (0897) 32-3211(代)

(普41年卒 秦 憲司)



平成元年度の本部総会（元・8・5：ふじ結婚式場）

本部

望洋会の設立や会誌の発行を中心に

事務局長 大西 章夫

四月五日 同窓会誌発行委員会開催
 会誌発行に関する諸条件を提示して見
 積依頼
 四月十六日 定時制部会理事会 定時

制卒業生の集まりである望洋会の設立
 について協議

四月二十六日 平成元年度諸帳簿監査

五月十六日 会誌発行委員会 ラフ・

スケッチにより、紙面と広告のスペー

スの割り振りを決める。原稿依頼先に

ついて検討

五月二十一日 第一回常任理事会 議

題 ①平成元年度事業報告 ②平成元

年度会計決算報告及び監査報告 ③平

成二年度事業計画及び予算案 ④役員

改選 ⑤会則の一部削除 ⑥定時制部

本部・支部だより



恩師や旧友と尽きない語らい

会規約（望洋会）の承認

五月二十二日 望洋会設立代表世話人

会 設立総会は十一月三日に決定 場

所未定 案内文等の作成検討

六月四日 第一回理事会 五月二十一

日の常任理事会で審議された議事承認

される 望洋会規約承認される

六月八日 会誌発行委員会 委員の役

割分担と、編集のまとめ作業

六月十五日 会誌発行委員会 編集に

ついでに総まとめ作業

六月十九日 望洋会設立代表世話人会

設立総会の場所・会費等について

六月二十八日 第二回常任理事会 本

年度総会にむけて、場所・会員券販

売・運営役割分担・新聞広告・チラシ

を入れる件について協議

七月六日 第二回理事会 六月二十八

日に協議された件を承認

八月三日 第三回常任理事会 総会開

催について最終打合せ

八月四日 同窓会総会及び懇親会

場所 市内高木町 ふじ結婚式場、時

間 十七時三十分から、議事 ①平成

元年度事業報告及び会計決算報告・監

査報告 ②平成二年度事業計画及び予

算案審議 ③役員改選 ④会則の一部

削除 ⑤その他 引きつづいて、十八

時三十分から同場所において懇親会

会費二、〇〇〇円

十一月三日 望洋会設立総会 場所

ふじ結婚式場

十二月中旬 第四回常任理事会 平成

二年度の反省・三年度の予定について

平成三年二月 第三回理事会 第四回

常任理事会で審議された件協議

三月 同窓会入会式（入会記念品贈呈

卒業式において同窓会賞授与

東京樟樹会

第四回総会・懇親

会を十月に開催

会長 秋月 正

東京樟樹会では、第四回総会および
 懇親会を、左記の日時により開催いた
 します。関東地区にお住まいの方、ふ
 るってご参加いただきますよう、ご案
 内申し上げます。（また、他地区から
 のご参加も歓迎いたします）

あなたの隣の
Jumpiziはま

読者からの
 情報をお待ちしています



愛媛新聞新居浜販売株式会社

本店 新居浜市一宮町1丁目14-3 TEL 35-1177(代)
 支店 新居浜市西喜光地町2-38 TEL 41-6506 FAX 43-1183

日時 平成二年十月六日(土曜日)
十三時から十七時
場所 東京都千代田区大手町一七
一二

大手町サンケイ会館 九階
TEL ○三一二三二一七七一
交通 地下鉄「大手町」(丸の内線・
日比谷線・東西線・三田線・
半蔵門線)下車「A四出口」
出ですく。
JR線「東京駅」下車、徒歩
七分。

問い合わせ先
東京都千代田区神田神保町一六一
一三TSI神保町ビル 三階
株式会社マーケティングディレク
ションズ内
TEL ○三一二九一四八二一

東京樟樹会事務局
事務局長 高橋知之



六月一〇日の近畿くすのき会総会

なお、東京樟樹会は、昭和六十二年七月にスタートしました。これまでに三回の総会および懇親会を開いていす。平成元年には、A4判二〇〇ページの会員名簿を作成しました。現在、一、六〇〇人の会員が登録されています。関東地区の同窓生のみならず、消息を事務局までご連絡ください。

近畿くすのき会

費用不足も幹事や有志の寄付で解消

会長 加藤 幸則

近畿くすのき会は、西高創立七十周年記念事業が行われた昭和六十二年の六月六日に、近畿に住んでいる千五百余名の同窓生の内、一三九名が相集まって産声をあげました。

以後、年間、十回位のペースで幹事会を開き、どのようにして同窓のきずなを強め、存在意義のある会にして行くかを話し合っています。幹事会には常に二十名前後の人が出席し、大変やかな雰囲気や談笑の内に進行し、次第に親睦の輪が広がって行くのを感じる昨今です。

そのような和の結晶として、昭和六十三年の十月には、ささやかではあります、内容の充実した会報「くすのき」創刊号を発刊し、本年六月十日に

は大阪の街を見下ろす大阪貿易センタービル三十一階のホールに、会員百十余名が集まって賑々しく第三回総会を開くことができました。

歴史の浅い同窓会につきものの運営費不足も、各幹事や有志会員の寄付等により、少しずつ解消され、徐々に明るい見通しとなって来ました。

会の発展のためには、常に名簿を完備し、総会など重要な事項は漏れなく全会員に通知しなければならぬと考え実行しています。しかし、壮年層の転勤などによる異動が激しく、その都度、百余通の転居先不明郵便が出て、ボランティアによる幹事を泣かせています。

近畿に移られた時、出られた時にはどうか一報をお願いします。

加藤法律特許事務所内(加藤)

TEL (〇六) 三六三三三七四二

松山くすのき会

会誌を発刊して親睦と交流を深める

会長 佐伯 直行

同窓会誌「樟樹」創刊にあたり、心からお祝い申し上げます。

かねてより懸案でありました母校の会誌だけに、松山支部も喜びにたえません。

松山支部は、母校の創立七十周年を



松山樟樹会の第2回総会

記念して、東京、近畿につづき、一八七七年七月十一日に結成総会を開き、六百名の会員のうち百二十名の方々のご出席を得て、盛大に行われました。このことは母校をはじめ、関係者の物心両面にわたるご支援の賜と感謝いたしております。

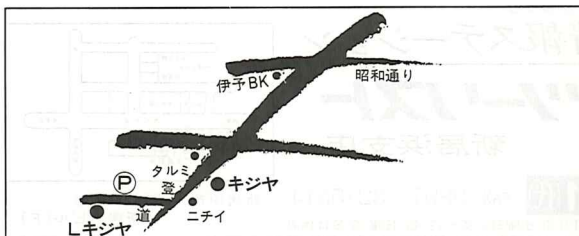
第二回総会を迎えるにあたり、会員名簿を整理し、会誌「くすのき」を発刊しました。会員相互の親睦と交流を深めるために、大きく役立ったとの声を聞くたびにうれしく思います。

これらは前会長・岡田三郎氏の人柄や役員の方々のご苦労があったからだと思えます。

先輩が築いた財産を守り育てていくのが、私に課せられた任務だと確信し、今後共頑張る決意であります。

母校のますますのご発展を祈ります。松山キャンパスOAシステム内(川井)

TEL (〇八九九) 二三一六六六六



服 紳士
服 学生
服 婦人

SPACE IN
スペースイン

新居浜登道 ☎37-2525

営業時間 AM9:30~PM7:30

動きの歩み



記念会館の広々とした和室での活動

現在、茶道必修クラブ三十三名と、茶道部一六名が、週一回、記念会館を使用して活動しています。茶道部は、学校創立以来、ずっと続いている伝統ある部です。

木造校舎の時には、作法室があったのですが、第一教棟を建てる時に壊され、クラブハウス二階の和室を、長い間使用していました。ここは部室です

から、水道の設備がなく、お湯を沸かしたり、茶碗や茶巾など道具類を洗うのに大変苦労していたようです。

とにかく西高祭では、水屋がないため一階と二階を往復して大変だったようです。しかしそこは、工夫しだいたいばかりに、和服を着用してみるなどがんばっていたようです。家庭科が統合され、第二教棟に和室のついた家庭教室ができ、ようやく水の使える所で活動ができるようになりました。ただここも、教室の半分に畳が敷いてあるだけの上に、畳のサイズが小さく、

多人数は座れませんでした。しかし、流しがあり、コンロがあったので、ずいぶん使い勝手がよくなりました。スペース的に畳の部分は使えないなど制約はありましたが、西高祭のお茶会も、床几や毛氈を使って、野点風にしたりと、立礼でしてみたりと、いろいろ工夫を凝らしていました。

が、現在は、記念会館の広々とした和室で活動しています。水屋も充実しており、道具類の整理もやすくなりました。

先生と視線が合う位置で点前の練習

さて、最近の活動状況を、少し説明してみたいと思います。クラブの時間

は、三十三名がぐるりと座り、お盆にのったお茶碗やなつめの前に、先生と視線が合う位置で、熱心にお点前を練習しています。おじぎの真行草、お菓子の取り方、お茶のいただき方、お茶に対する心掛けなども教えていただいています。

こうして、一時間はすぐたつてしまいます。これも、三十畳余りという広い部屋があつて出来ることだと思えます。

部活動の方は、一六名しかいませんが、本当にお茶の好きな、ついでにお菓子の好きなメンバーが集まっています。二、三年生と一年生に分かれて、それぞれの練習に励んでいます。

また、北側にある小和室は涼しく、情報交換や勉強にと、部室のない茶道部員にとつては、欠かせない部屋になっています。

最大のイベントである西高祭のお茶会も、いろいろと工夫が出来るようになりました。昨年度は「秋」をテーマに、風炉・釜をすえて、柄杓扱いに挑戦しました。今年度は、夏休みに特訓を積んで、茶箱に挑戦しようかとも考えています。

茶室が出来たということは、拠点が出来たようなものです。これを機会に、もっと活動の量を増やしていこうと思っています。

近畿日本ツーリスト

日本の旅
世界の旅

信頼される旅づくり
ツーリストは旅の情報ステーション

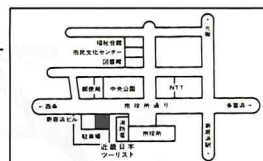


近畿日本ツーリスト

新居浜支店

☎(0897)37-2431(代) FAX [0897](32)5314

●営業時間：平日9:30～17:30 土曜日9:30～12:45 日曜・祭日は休み



新居浜市一宮町1-5-50
(新居浜ビル1F)



全国大会出場など 輝かしい戦績残す

部の創設は、前身の高等女学校時代であり部の伝統・歴史は非常に古い。当時から校内大会を実施したり、対外試合に参加して活躍していた。それが今日の部の礎になっている。

昭和二〇年代は、学校にコートがなく、農協会館裏（現市役所）のコートで一般人や他の高校生と一緒に練習をしながら、技術の上達を図り、各大会

で好成績をあげていた。

昭和三〇年～四〇年代は、校庭の運動場南端にコートが作られ、練習に専念することができたので、県大会、四国大会においても、素晴らしい成績を収めることができた。

昭和五〇年代は、体育館横の二面のコートであったが、良き指導者・優秀な選手に恵まれ、第三期・黄金時代を送ることができた。昭和五八年、第二グラウンド（旧家庭科校舎跡）に専用コートが四面作られ、今日まで男女部

員が練習に励んでいる。

昭和六〇年代は、男女とも個人戦は全国大会に出場するなど活躍したが、団体は四国大会出場にとどまる。

平成に入り、男子団体戦において、県選抜大会優勝、四国大会準優勝の成績で、四国代表として全国選抜大会に出場した。平成二年の県総体では準優勝を果たし、四国大会の出場権を獲得した。

現在までの主な戦績をあげると、次のとおりである。

軟式庭球部戦績

- 昭和12年 明治神宮大会に松本・武田組出場
- 昭和26年 全国大会で尾崎・松本組ベスト16
- 昭和31年 四国大会男子個人で芝・渋谷組優勝
- 全国大会男子個人で芝・内田組ベスト16
- 昭和35年 大会男子個人で芝・河合組優勝
- 昭和36年 四国大会男子個人で河合・村上組優勝、全国大会で第三位
- 昭和37年 四国大会男子個人で江原・高橋組優勝、国体に出場
- 昭和42年 四国大会男子団体が優勝国体少年男子で白石・近藤組三位
- 四国大会女子団体が準優勝
- 全国大会女子個人に富加美・糸野組出場
- 全国大会女子個人に富加美・鈴木組出場
- 昭和43年 全国大会女子個人に富加美・鈴木組出場
- 昭和46年 四国大会男子個人で橋本・西岡組優勝
- 昭和47年 全国大会男子個人で橋本・青野組準優勝
- 昭和48年 全国大会男子個人に内田・渡部組出場
- 昭和50年 国体に曾我・岡崎組出場
- 昭和51年 四国大会へ藤原・安藤組、丸山・西内組、稲見・大西組、立石・福田組、森・湊組出場
- 昭和54年 四国大会男子団体がベスト4
- 国体に津乗・神野組出場
- 昭和55年 全国大会男子団体が三位
- 昭和57年 全国大会男子個人に久岡・町田組出場
- 昭和60年 四国大会男子団体に出場（石川・神野組、小島・竹内組、山本・松田組、白川・藤田組）女子個人に森・渡辺組出場
- 全国大会男子個人に石川・神野組出場
- 昭和61年 四国大会女子団体に出場（松垣・石川組、小野・後藤組、岩田・北組、亀井・広安組）
- 昭和62年 四国大会に高橋・田組出場
- 昭和63年 四国大会に池内・神野組出場
- 平成元年 選抜四国大会男子団体が準優勝
- 平成2年 選抜全国大会男子団体に出場
- 全国大会男子団体に出場

桑原運輸株式会社

代表取締役 桑原 征一

新居浜市西原町3-2-1 TEL(0897)35-1111
FAX(0897)34-2334



本館建屋には、全国大会出場を祝う横断幕も

母校の概況

母校の建物や環境は、変化している。しかし、そこに学ぶ後輩たちは、伝統を受け継ぎながら、よりよい、よりたくましい校風づくりに励んでいる。

部活動や進学状況など後輩の活躍ぶり、校庭の様子、教職員の異動などを紹介してもらった。

体育部の活動状況

全国大会で大健闘

進学校というハンディを背負っているにもかかわらず、各部ともにもまずまずの戦績をあげている。

活躍の顕著な部を紹介する。

〈軟庭男子〉今年度は全国選抜大会に出場し、全国大会でも大健闘した。インターハイ予選では、惜しくも準優勝となっている。

〈登山女子〉今年度はインターハイ出場を決めている。一昨年の国体にも出場し、県内の強豪となっている。

〈サッカー部〉昨年度インターハイ県予選で準優勝し、四国大会出場を果たした。あの南宇和との雨中の決勝戦は、選手の良き思い出となった。

〈野球部〉毎日の練習が功を奏し、戦績が安定している。一昨年の春季県大会ベスト8。今年度の春季県大会ベスト8と、新居浜市内の他校にもひけをとらない活動状況である。紹介はできなかつたが、他の部も四国大会や県大会で、優秀な戦績をあげている。

物理部と放送部も

全国の舞台で活躍

各部ともに、県大会で優秀な成績をあげている。物理部、放送部は、県優秀校となり、全国大会に出場した。

美術部は、毎年、県展に多数の入選者を出している。書道部も同様である。

なお、一昨年から高文連が発足し、高体連と並んで、高校生の部活動の核となっている。

三六年当時の校舎

はすべて姿を消す

校庭の様子をみてみよう。昭和三十六年頃の普通科・家庭科校舎の平面図を見ると、現在まで残っているものは何もない。当時の建物は、すべて建て替えられている。

まず、第二体育館（武道場）は、プール北側の格技場に姿を変えている。木造校舎であった第二、第三、第四教棟が整理されて、現代の鉄筋の第一教棟となった。

第四教棟の二階は、歩くとギシギシと音をたてるし、冬は寒く、夏場はムシムシする最悪の校舎だった。しかし、なくなってみると、残念な思いがする。

そして、昭和五七年には、理科教棟のあったところに、家庭科教棟が越してきて、現在の姿となった。

大学入試は輝かし

実績を収める

近年の大学入試は、国立大学におけるA B日程の変更、あるいは分離分割方式を採用する大学の増加など、変化が激しい。

さらには、私大の一部も参加する、「新

新居浜・楠中央通り南端！

パチンコ大球



西条・産業道路ド真中！

プラザ大球

(普40年卒 千葉龍史)



玄関前の「仰」の碑（書は橋崎一光老師）



「四恩の鐘」があった中庭



文化部も活発な活動を……

東急
女子
学院

テスト」の実施がある。こうした中で、生徒たちは、西高の伝統を受け継ぐ、輝かしい実績を収めている。
最近三か年の合格者数と、その一部分を紹介する。（数字は人数）

	(63年度)	(元年度)	(2年度)
国立計	三五二	二九五	二八四
私立計	二七一	二五四	二九八
東京都	七	六	五
京都市	一〇	六	四
大阪大	一一	一〇	一〇
神戸大	四	七	四
広島大	二四	一〇	一六
愛媛大	六八	六〇	五四

新しく三木校長を 迎えた教職員異動

今年の教職員異動

平成二年度の教職員異動は、次のとおり。

教科	転出者	転入者	前任校
校長	寺尾節男	退職	三木 忠 川之江
教頭	高橋幸和	退職	加藤公一朗 新南
国語	野間ゆみ	松西	高橋広美 今西
社会	渡辺武彦	東予工	村上敏之 三島
数学	大澤彰久	教育七	浅山裕子 (新採)
理科	伊藤隆之	三島	越智崇詞 三島
保体	重松聖二	今東	佐々木利夫 伯方
	村上俊行	西条	加藤正義 川之江
	近藤清香	川之江	秦 民子 西農
	竹内喜重 (新採)		
英語	谷本芳英	内子	寺岡正夫 今西
	松木一明	弓削	越智美也子 松山北

家庭 坂上みたま 退職 浦川朱美 川之江
近藤秀子 今北
事務 伊藤文佳 (新採)
石本親正 伯方 石川昭子 新東
越智十菊 西農
寺尾節男前校長は、昭和六三年度・平成元年度の二年間、在職。石本親正専門員は、事務長に昇任された。

一九名の同窓生が 母校の教壇に立つ

同窓生教職員名簿

(氏名)	(卒業年度)	(教科)
神尾亮吉	S 32	体育
加藤正義	S 34	体育
笠井寿彦	S 35	理科
斎藤美智子	S 38	実習助手
浦川朱美	S 41	家庭
二宮昌子	S 44	家庭
藤田聡司	S 45	国語
佐々木利夫	S 47	理科
品川雅司	S 47	理科
渡辺和明	S 47	理科
松木由紀代	S 47	英語
河上仁	S 48	実習助手
坂上桂子	S 49	体育
大石桂子	S 49	家庭
中川文生	S 50	数学
横川佳久	S 53	数学
近藤千晴	S 53	事務主事
鈴木美也子	S 55	英語
越智美也子	S 57	英語
平田麗子	S 59	英語



豊かな感動のステージへ
東急観光

TOP TOUR

東急観光新居浜支店
新居浜市久保田町1-1-18
☎ 0897-37-0181

住友グループから 市へ図書館を寄贈

住友グループは、平成二年一月二日、新居浜市で別子銅山開坑三〇〇年を記念して式典を催す。

そこで、別子開坑からの節目に、住友グループが行った記念事業をみてみよう。二〇〇年目には、皇居外苑に楠公像を献上している。住友家三代目の住友友信が、元禄四年に開坑して、明治三年に二〇〇年を迎えた。当時の住友友忠は、祝典をあげるに当たり、「深く国恩に感謝し、この山の銅を以て楠正成公の大銅像を鑄造する」と、住友家が連綿と別子銅山を経営していたことを、内外に示した。

早くも、その時から一世紀を経過した。その中間の五〇年前は、昭和一五年で戦雲急を告げていた。二五〇年式典は、神事・仏事・法要が行われ、社員には記念料が支給された。祝宴は、住友倶楽部で催された。

その時の記念事業は、公共への報恩という形がとられた。その主力は、教育関係だった。新居高等工業学校（現在の高専の場所、愛媛大学工学部の前身）の設立資金として愛媛県知事へ、新居浜中学（現在の東高）の建設資金として期成同盟会へ、その他、近在の神社、仏閣、近郷の市町村にも寄付された。

昭和四八年に閉山した別子銅山は、二八〇年間に約三千万トンの銅鉱石を産出した。途中、幾度も経営の危機、災害、労働争議、煙害などに出会ったが、誠心誠意、その対応に取り組み、ある時は世界初の新技術をいち早く導入して解決し、地域はもとより、国家にも多大の貢献をした。

今、当市の現状をみると、歴代の指導者を中心として、幾多の困難を克服し、わが郷土「魅力ある田園工業都市新居浜」の基礎を造り上げていく。その先人の英知に、深甚の敬意を表す。

今年、開坑三〇〇年に当たる。その記念式典は、新築のリーガロイヤルで予定されている。記念事業として、新居浜市には、泉寿亭の跡地に超近代的な図書館を、また別子山村には村民福祉基金を、それぞれ報恩寄付することが発表されている。

また、閉山時に煙突山のみもと、大山積神社の境内に歴史伝承館として、別子銅山記念館が建設され、市民に親しまれている。その敷地内に、記念歌

碑の建設も計画されている。

そのほか、リゾート型リーガ・ロイヤルホテルが、前田社宅跡地の一角に建設が進められている。七月には、プールなどがオープンし、十一月の式典後の祝宴は、ここで催される。

マイントピア別子

やテクノポリスも

市としても、産業、文化、教育、歴史などの各種の記念事業を開催する。が、何といつても圧巻は、端出場の採鉱本部跡地を拠点に、第三セクターによる南部観光開発である。

それは、「銅山史と自然の杜」、それに夢、食、くつろぎの五点を踏まえ世界的にも通用する「マイントピア別子」が、平成三年春のオープンを目指して建設を急いでいる。

わが国最大の住友別子銅山が、「遊トピア」に変身しようとしている。

そのほか、新居浜市にはビッグな事業が続く。

東平小学校跡に昨年開設した「銅山の里自然の家」。多喜浜には、昨年、新居浜東港が開港。そして今年、第三次長期総合計画が発表された。

計画の中には、JR駅前九月開局のCATV、平成三年三月に土居町から西条市まで開通予定の高速自動車道、愛媛テクノポリスの拠点施設として、大生院の愛大農場跡に平成三年秋にオープンする東予産業創造センターなどの事業が満載され、新居浜市も大きく変化しようとしている。

こうした変化を詩にまとめ、鹿森ダム展望台横に掲げられていた。

祝 別子銅山開坑三〇〇年
祝 鯉の放流と鯉のぼり五周年

「鯉に托す（その二）」
別子の湖に泳ぐ鯉

銅山開坑三〇〇年の今
鯉は遠登志の滝を登る

龍に変身し
龍に托す

天を駆けぬぐる
雨を降らし宝を見付け

新居の里を潤す
龍はドンデンドンと天を舞う

新居の工都（まち）は蘇る

太鼓台の本が
発刊された

カラー写真で三二台紹介

このほど、新居浜市立図書館から、「新居浜太鼓台」という本が発刊され、話題になっています。

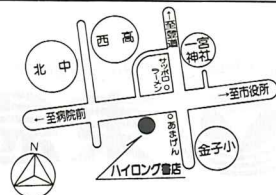
おかげさまで10周年!! 駐車場を完備しました。

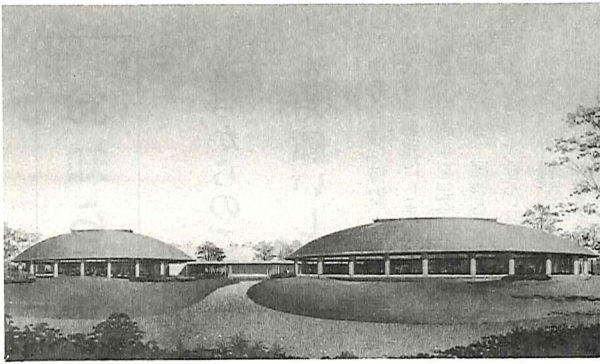
ハイロング商事株式会社

ハイロング書店

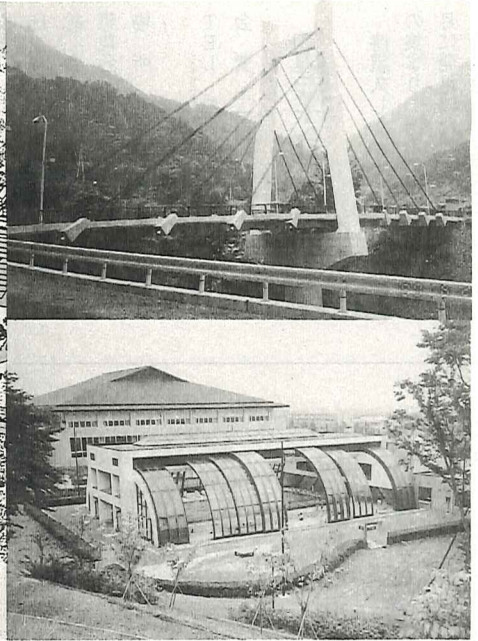
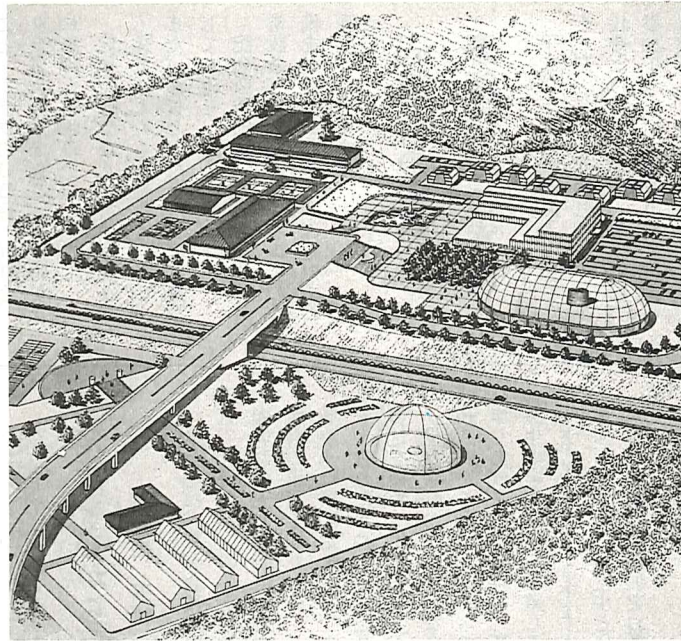
新居浜市一宮町2丁目1-41 TEL(0897)33-2932

代表取締役 近藤博司(普・S43年度卒) 取締役 近藤昌子(女・S14年度卒)



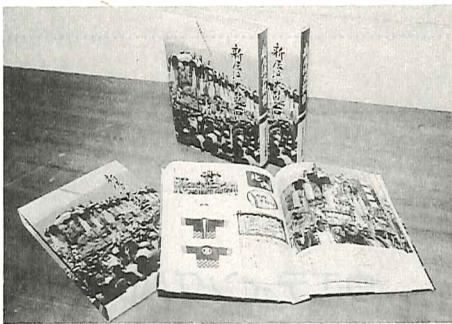


住友グループが約30億円を投じて建設し、市に寄贈する図書館（完成予想図・左）と銅山の里（いずれも新居浜市提供）



愛媛テクノポリス副母都市が大生院に決定されている（完成予想図）
東予産業創造センター、愛媛歴史未来館が計画されている（新居浜市提供）

マイントピア別子の端出場大橋（上）と山根総合公園

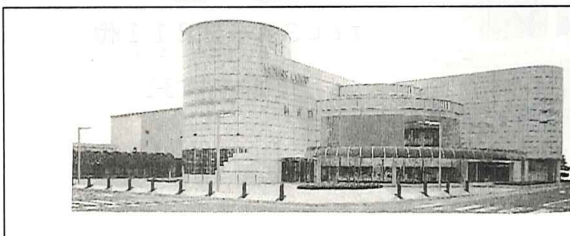


話題を呼ぶ「新居浜太鼓台」の本

この本は、B5判・三四〇ページで、写真編、研究編、資料編の三部構成。写真編では、市内三十二台の太鼓台のすべてが、カラー写真で紹介されている。価格は二千円。送料は四一〇円。図書館への申し込みは、五月末で締め切られているが、同窓会では若干の部数を確保しています。ご希望の方は、同窓会事務局まで来ていただくか、同封の振替用紙で申し込んでください。ただし、整理の都合上、八月末日で締め切らせていただきます。

また、新居浜市教育委員会からは、「新居浜のむかしはなし」二六〇〇円と、「新居浜の相撲物語」二千元が発行されています。

こちらは、市役所五階の教育委員会でも頒布しています。遠くの方には、どちらも送料三二〇円で郵送していただけるとのことです。



ご結婚・ご披露宴・ご宴会・各種会議

ユアスコ
YOURS COOP

〒792 新居浜市泉宮町5番6号
TEL (0897) 33-3535・FAX (0897) 33-5428

お知らせ

次号からのご購読

をお願いします

同窓会誌「樟樹（くすのき）」創刊号をお届けします。本号は、創立七〇周年を記念して創刊されましたので、同窓会全員に郵送しました。次号からは、希望される会員に、有料で送付させていただきます。ご希望の方は、〇〇〇円を、同封の振込用紙で、八月末までに送金ください。五号分の送料と印刷代の一部にさせていただきます。第二号から第六号までをお届けいたします。現在のところ、年一回以上の発行を予定しています。

なお、八月四日の総会の会場でも受け付けます。どうぞ、ご購読をお願いいたします。

原稿のご提供を！

「樟樹」の原稿を募集します。あなたの近況、在校当時の出来事や、クラブ活動の思い出、恩師の

こと、クラブのOB会、同期会、クラス会の模様など、事務局までお寄せください。

記事だけでなく、古い写真などもありましたらご提供ください。また、お貸しいただければ、複写してお返しいたします。

記念会館内に、同窓会事務局が常設されましたので、資料類の整備を進めております。ご協力をお願いいたします。

同窓会の総会と

懇親会のご案内

平成二年度の総会および懇親会を、左記により開催します。ご多忙中とは存じますが、お気軽にご参加下さい。（当日も受け付けています）

日時 八月四日（土曜日）
総会 十七時三〇分から
懇親会 十八時三〇分から
場所 新居浜市高木町三丁目一番
ふじ結婚式場（平安の間）
TEL (〇九七) 三四一三二二一
会費 二、〇〇〇円

「望洋会」も総会

待望久しかった、定時制卒業生の集まりである望洋会が、本年六月に発足いたしました。記念すべき設立総会が左記により開催され

支部の要望に応え

発行を心から喜ぶ

前会長 下村 隆男

本会誌は、私が会長時代に、東京、大阪、松山の各支部設立のお願いに参上した時、故郷の事を、西高の現状を知りたい、と希望が多かった事に始まった。すぐにも出版したかったが、記念事業に多忙を極め、出来なかつた。

世良会長の下、立派な会誌が発刊されたことに、心からお喜びを申しあげます。同時に、多数の同窓生の申し込みを希望します。

何かとご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願いいたします。

日時 十一月三日（土曜日）
総会 十七時三〇分
懇親会 十八時
場所 市内高木町三丁目一番
ふじ結婚式場
TEL (〇九七) 三四一三二二一
会費 男性 六、〇〇〇円
女性 五、〇〇〇円

「目で見る西高

70年史」に残部

昭和六十三年二月発行の、創立七十周年記念誌「燃やせ！熱い



ウエディングパレス

ふじ

TEL 34-2211 (代)
みよ ふーふーい

新居浜市高木町3-2

心・拓け！輝く未来」が、少し事務局に残っています。A5判・八〇ページで「目で見ると西高七〇年史」という写真集です。

編集後記に「それぞれの時代に生き、縁あってこの学舎に集った卒業生の方々には、懐かしい青春をしのぶたよりとして、このアルバムをひもといてほしいと思います」とあります。

ご希望の方に、実費一、五〇〇円、送料三二〇円でお渡しいたし

会誌の発行を祝う

前校長 寺尾 節男

記念すべき創立七十周年の諸行事の余韻が覚めやらぬ昭和六十三年度と平成元年度の校長として、勤務させていただく過程で、同窓会報発行の機運が盛り上がってき



ます。同窓会事務局まで来ていただくか、同封の振替込用紙でお申し込みください。

編集後記

準備を始めて丸一年。やっと発行できた。これも、学校、後輩の諸君、支部の皆様、多くの会員の方々の暖かいご協力のおかげである。深く感謝します。

たことを、本当にうれしく思っております。

同窓会という組織ほど、純粹で明朗な団体は、ほかに見当たりません。先輩・後輩が同じ学び舎で学んだというよしみで、お互いの親睦もされることなどから、激励や協力を惜しまない姿勢というのが充溢しているのです。

さらに、母校の隆盛と発展を願って、在校生へはもちろんのこと巣立っていく卒業生への温かい激励をいただく。

お互いの消息やら、充実していく学校の様子を、紙上で確認していくすばらしい会報に育っていただくことを、心から期待しております。

同窓生各位のご健勝を祈りつつ発行に際してのご挨拶といたします。

出来あがってみると、反省点が目につく。しかし、これをたたき台にして、次号からは大きく飛躍させていただければ幸いです。広告をご掲載いただいた皆様にも厚くお礼申し上げます。また、今後、広告のご協力をいただける会員の皆様は、事務局までご連絡をお願いいたします。創刊号に関するご意見をお寄せください。編集委員一同

会報「樟樹」発行委員

- 委員長 武田 信之(普七)
- 委員 加藤 明男(普七)
- 下村 隆男(普七)
- 安藤 正純(普七)
- 藤田 石根(普七)
- 寺尾 亮吉(普七)
- 近藤 博司(普七)
- 伏見 紀子(普七)
- 藤田 聡司(普七)

同窓会誌「樟樹」創刊号

発行所

愛媛県立新居浜西高等学校同窓会
〒七九二

新居浜市宮西町四一四六
TEL 〇八九七―三―四三三一

発行者 世良 誠朗

編集者 武田 信之

印刷所 エービー株式会社

発行日 平成二年七月一七日

胃腸科・肛門科

大橋外科医院

新居浜市船木甲4463-1

TEL (0897) 41-8101